

令和3年度武蔵野市財政援助出資団体 経営目標

団体名		公益財団法人 武蔵野文化事業団				
事業	① 指標名	これまでの文化事業団実施事業のアーカイブ化			目標値	アーカイブの完成（公開）
	過去の実績	平成30年度	令和元年度	令和2年度	（過去の実績についての説明）	
	（単位：）	-	-	-	冊子による市民文化会館・芸能劇場の5・10周年記念誌、美術館の10年間の活動記録などは発行しているが、アーカイブは初めての試みである。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針（平成21年2月改正）の具体的な取組の該当項目	(2) 事業評価の導入と事務事業の見直し				
設定理由等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 文化事業団は昭和59年の設立以来、音楽のみならず古典芸能、美術、演劇、ダンス、茶道など多種多様な事業を展開してきた。来年（令和4年）4月の生涯学習振興事業団との合併を控え、合併後の新法人での事業に繋げていくためにも、これまでの37年間（今年度を含む）のあゆみを総括しアーカイブを整備することは極めて重要である。					
取組内容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ① 37年分の事業一覧の作成 ② 特徴的な事業の詳細調査 ③ 令和4年3月までにホームページ上にまずは事業一覧を公開し、その後、特徴的な事業等について掲載していく。					
財務	② 指標名	コロナ禍における事業の着実な実施と収入の確保			目標値	入場料収益予算額20,559,000円を達成するとともに、その5%以上を外部補助金等として獲得する。
	過去の実績	平成30年度	令和元年度	令和2年度	（過去の実績についての説明）	
	（単位：円）	-	-	14,150,050 （入場料収益） 858,000（芸術文化振興基金助成金）	昨年度「新たな事業収入手法の多様化」として5パターンを試行した結果、新たな収入源として期待するには難しいが、新規顧客獲得による将来的な収入の可能性につなげていく。新型コロナウイルス感染症対策の影響により、入場料収益が減少（事業費に占める入場料収益の割合が減少）したことから、公演件数も見直さざるを得なくなった。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針（平成21年2月改正）の具体的な取組の該当項目	(1) 経営健全性の確保				
設定理由等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 昨年度、新たな事業収入の手法として5パターンを試行した。それらを踏まえ、今後webによる事業を新たな顧客獲得のための周知手段として位置づけ、コロナ禍において様々な制限のある中でも、一定数の公演を行うことにより芸術文化を市民に届けていけるよう、入場料収益とともに、外部補助金等も着実に確保していく。					
取組内容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ① コロナ禍において、感染防止策を徹底しながら、確実に事業を実施。 ② web等による動画配信を継続。新規顧客の確保。 ③ チケット販売以外の収入源の研究を継続。					
内部管理	③ 指標名	新法人としての事務継続に向けた過去の資料整理と文書及びデータのファイリング実施体制の整備			目標値	年度内にデータと紙のファイリングを実施する体制を整備する。
	過去の実績	平成30年度	令和元年度	令和2年度	（過去の実績についての説明）	
	（単位：）	-	-	-	令和2年度から、合併準備会の例規・要綱部会において、必要性を確認してきた。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針（平成21年2月改正）の具体的な取組の該当項目	(7) 情報公開の更なる推進				
設定理由等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 事業及び総務関係の過去の資料及びデータの整理を実施するとともに、事務の効率化のためにファイリングを実施する体制を整備することで、生涯学習振興事業団との合併後の新法人での着実な事務執行を図る。					
取組内容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ① 専門的な見地からのアドバイスを外部からも求め、段階的に整理していく。 ② ファイル基準を整備し、過去の資料（紙ベースの資料及び電子データ）を整理する。保存や廃棄の基準をルール化し、ルーティーン化する。					